

令和7年度 博物館セミナー予定表

	期 日	時 間	講 師	タイトル	内 容
1	令和7年 7月20日(日)	13時30分 ～ 15時30分	松井哲洋氏	関宿城博物館所蔵の船、その概要と特徴	今春、関宿城博物館・中央博物館大利根分館などが所蔵している「川船関連資料」が国の文化財に指定されました。しかし、船そのものはほとんど指定されなかったようです。関宿城博物館には三艘の川船が収集され屋外展示されています。今春、これらの川船の調査を行い、一部修理いたしました。その際に確認できた内容や博物館内の川船模型などをみながら、利根川水系の川船の特徴を皆様と一緒に学んでみたいと思います。
2	8月17日(日)		松丸明弘氏	江戸時代の舟運と川船の旅	江戸時代の物資の輸送手段に利根川や江戸川を利用した川船がありました。その川船と川の港である河岸について紹介します。また、川船は物資ばかりでなく人々の旅行にも役立っており、そのことを木下河岸からの茶船といわれた川船による旅の様子からみていきます。他にも河岸周辺でおこった様々なできごとを紹介します。
3	11月16日(日)		岩槻秀明氏	河川敷で見られる外来生物	近年外来種問題がクローズアップされる機会が増え、社会全体の関心が高まっています。では博物館周辺の河川敷にはどんな外来生物が見られるのでしょうか。植物、昆虫などを中心に、これまで私が確認したものを紹介します。
4	12月7日(日)		市川幸男氏	中川の流路の変遷と河道改修の経緯について	埼玉県東部の低地から東京都東部を流れる中川の河川流路は、明治43年洪水以降に始まる一連の改修工事で、島川・権現堂川・庄内古川・新規開削河道・古利根川を連続させて、荒川放水路と並行して流下して東京湾に至る現在の中川本流の河道が成立したことについて紹介します。
5	令和8年 1月18日(日)		石田年子氏	野田市の馬頭観音信仰	馬は自動車や重機が普及する現代まで、戦い・農耕・工事・運送など様々な仕事を担う大切な働き手でした。江戸期より馬頭観音を馬の守護神とする民間信仰が広がり、飼馬の墓標や運送業者などの講集団が馬頭観音塔を造立する事が定着していきます。野田市内に残る馬頭観音塔や絵馬などから江戸期の馬との関りを推察します。
6	2月8日(日)		新井浩文氏	関宿周辺の湖沼機能Ⅲ	令和5年度からの同名タイトルセミナーを引き続き今年度も考察します。今年度は、関宿だけでなく、視野を周辺の湖沼にまで広めて比較検討を行います。
7	3月8日(日)		尾崎晃(当館学芸員)	関宿関所の設置と機能	「入り鉄砲に出女」を取り締まったとされる関所が関宿に置かれたのは元和2年(1616)から明治2年(1869)までです。関宿関所の置かれた場所や構造を説明し、実際にどう機能したのかについて解説します。